

# IRミーティング

2015年3月期決算概要

科研製薬株式会社

2015年5月13日

「あなたに笑顔」科研製薬の願いです

# 注意事項

- 本説明資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。
- 新薬が発売されるまでには、多額の資金と長い開発期間が必要となります。有効性と安全性を確認しながら慎重に開発を進めていくうちには、開発中止となる可能性があります。
- 「開発テーマの状況」は、現時点の開発計画に基づいて作成しております。開発計画の進行に伴い、変更等が発生する可能性があります。

# 会社概要

2015年3月31日現在

- 科研製薬株式会社
- 代表取締役社長 大沼 哲夫
- 創業 1948年3月1日
- 資産合計 115,135百万円(連結)
- 資本金 23,853百万円
- 株主資本合計 72,094百万円(連結)
- 主な事業内容 医薬品、医療機器、農業薬品、飼料添加物の製造・販売  
及び不動産の賃貸  
(医薬品等 89.9% 農業薬品 5.8% 不動産 2.6% その他 1.6%)
- 主な事業所 全国8支店62営業所、新薬創生センター、CMCセンター、静岡工場
- 従業員数 1,503名(連結)  
内 営業本部 947名、研究開発本部 258名、生産部門 145名
- 株主構成 株主数 8,935名 単元株主数 6,480名  
(個人 17.0% 金融機関 32.0% 国内法人 11.6% 外国人 23.9%)
- 子会社 科研不動産サービス(株)、科研ファルマ(株)

# 2015年3月期決算のポイント

- 増収・増益を確保

- クレナフィン新発売
- 薬価改定の影響を吸収し、売上高・営業利益ともに過去最高を更新
- 中期的な数値目標である営業利益200億円を達成

- 13期連続の増配および自社株買いを実施

- 11円増配し、年間配当59円(配当性向: 40.6%)
- 159万株の自社株買いを実施し、流通株式数は82,852千株に
- 500万株の自社株を消却

- 原発性局所多汗症治療剤「BBI-4000」を導入

# 2015年3月期損益実績(連結)

(百万円未満切捨)	2014年 3月期	2015年 3月期	増減	前期比 (%)
売上高	88,946	93,889	4,943	105.6
営業利益	15,872	20,631	4,758	130.0
経常利益	15,521	20,394	4,872	131.4
税引前当期利益	15,496	18,611	3,115	120.1
当期純利益	9,735	12,122	2,387	124.5

- ・ 増収増益

クレナフィンの売上が増収増益に大きく寄与

薬価改定の影響は6%台半ば  
長期収載品は減収

- ・ 販管費: 28,504百万円

(前期比 +597百万円)

研究開発費: 7,615百万円

(前期比 +570百万円)

- ・ 13期連続の増益

# 売上内訳(連結)

(百万円未満切捨)	2014年3月期	2015年3月期	増減	前期比 (%)
医療用医薬品・医療機器	75,576	78,338	2,761	103.7
農業薬品	5,095	5,472	377	107.4
不動産賃貸料	2,459	2,429	▲29	98.8
その他	5,814	7,649	1,835	131.6
Jublia関連売上*	1,250	3,318	2,068	265.4
合計	88,946	93,889	4,943	105.6

(\*マイルストーン収入、ロイヤリティ収入、原体売上、製剤売上を含む)

# 販管費の推移

(百万円未満切捨)	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期
売上高	87,997	87,054	88,946	93,889
販管費	27,884	27,474	27,907	28,504
研究開発費	6,592	6,302	7,045	7,615
研究開発費を除く 販管費	21,292	21,171	20,861	20,889
対売上高比率	24.2%	24.3%	23.5%	22.2%

# 連結貸借対照表

借方

貸方

(単位:百万円未満切捨)

	2014年 3月期末	2015年 3月期末	増減		2014年 3月期末	2015年 3月期末	増減
流動資産	58,501	69,016	10,515	流動負債	28,056	30,369	2,313
固定資産	47,964	46,118	▲1,845	固定負債	10,312	7,665	▲2,646
資産合計	106,465	115,135	8,669	負債合計	38,368	38,035	▲333
				純資産合計	68,096	77,100	9,003

## 主な変動科目 (百万円未満切捨)

◆資産 現金及び現金同等物 : 24,767百万円 (+ 7,310百万円)

有形固定資産 : 25,961百万円 (▲ 2,554百万円)

◆負債 有利子負債 : 4,195百万円

◆純資産 利益剰余金 : 52,932百万円 (+ 3,142百万円)

自己株式 : 16,098百万円 (+ 1,557百万円)

※ B/S上は純資産の減算項目です



# 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)	2014年 3月期	2015年 3月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,663	14,737	1,073
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,135	473	2,609
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲10,992	▲7,900	3,091
現金及び現金同等物の期末残高	17,457	24,767	7,310

- ※ 営業活動によるキャッシュ・フロー  
税金等調整前当期純利益：18,611百万円
- ※ 投資活動によるキャッシュ・フロー  
有形固定資産の取得：1,954百万円
- ※ 財務活動によるキャッシュ・フロー  
自己株式取得額：3,636百万円  
配当金支払額：4,263百万円

# 主な医薬品・医療機器の売上実績内訳

(百万円未満切捨)	2014年 3月期	2015年 3月期	前期比 (%)
アルツ	32,073	30,259	94.3
セプラフィルム	10,726	10,791	100.6
クレナフィン	—	6,857	—
リピディル	4,429	4,373	98.7
フィブラストスプレー	3,786	3,511	92.7
ジェネリック医薬品計	10,977	12,380	112.8

## ・アルツ

売上数量は伸長するも、薬価改定の影響等により減収

## ・セプラフィルム

消費増税に伴う駆け込み需要の反動が一部見られたが、新材形の発売等により微増

## ・クレナフィン

昨年9月に新発売  
爪白癬の新たな選択肢として、  
皮膚科専門医の認知向上に注力

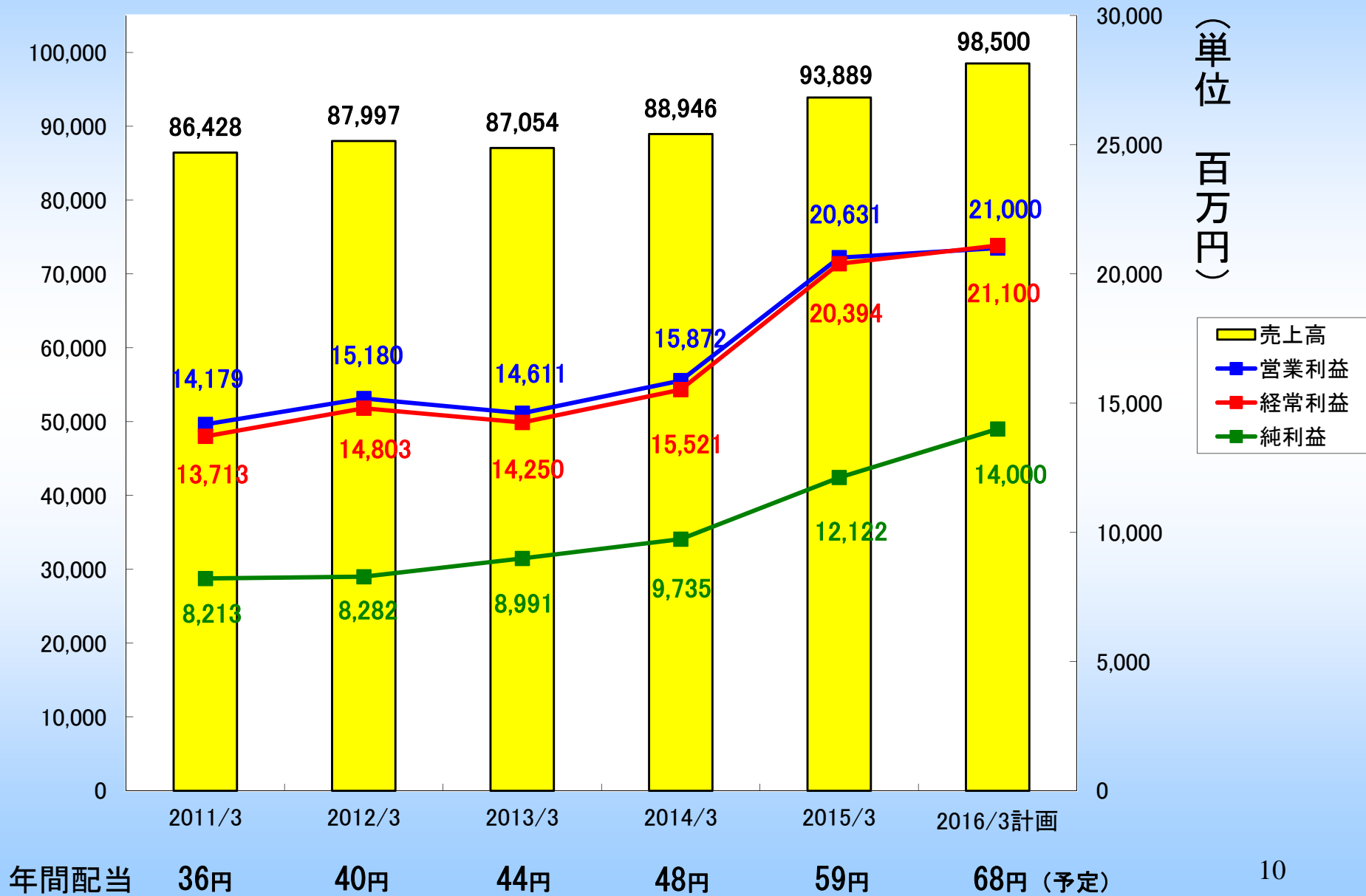
## ・リピディル

売上数量は伸長するも、薬価改定の影響を受け微減

## ・ジェネリック医薬品

薬価改定の影響を受けるも、  
既存製品の伸びに加え、  
新製品も増収に寄与

# 業績推移(連結)



# 開発テーマの状況

	開発コード	適応症	開発段階	承認予定 (年)	備考
1	KCB-1D	歯周病	申請準備中	2016	bFGF
2	KAG-308	潰瘍性大腸炎	P II 準備中		旭硝子株式会社と共同開発 経口プロスタグランジン製剤
3	BBI-4000	原発性局所多汗症	前臨床		ブリッケル・バイオテック社より導入 外用抗コリン剤
4	SI-657	腱・靭帯付着部症	P III	2016	生化学工業株式会社と共同開発 「アルツ」効能追加

# 2016年3月期損益計画(連結)

(百万円未満切捨)	2015年 3月期 実績	2016年 3月期 計画	増減	前期比 (%)
売上高	93,889	98,500	4,611	104.9
営業利益	20,631	21,000	369	101.8
経常利益	20,394	21,100	706	103.5
税引前当期利益	18,611	21,100	2,489	113.4
当期純利益	12,122	14,000	1,878	115.5

- ・増収増益を計画
- ・販管費：32,200百万円  
(前期比 +3,696百万円)
- 研究開発費：11,300百万円  
(前期比 +3,685百万円)
- ・14期連続の増配を予定  
9円増配し、年間68円配当  
(配当性向：40.2%)

# 主な医薬品・医療機器の売上計画内訳

(百万円未満切捨)	2015年 3月期 実績	2016年 3月期 計画	前期比 (%)
アルツ	30,259	30,600	101.1
クレナフィン	6,857	12,000	175.0
セプラフィルム	10,791	11,000	101.9
リピディル	4,373	4,500	102.9
フィブラストスプレー	3,511	3,600	102.5
ジェネリック医薬品計	12,380	13,300	107.4

- **アルツ:**  
「変形性膝関節症」の疾患啓発活動を更に強化するとともに、市場の拡大を推し進める
- **クレナフィン:**  
製品特性を訴求し、皮膚科専門医の評価を確実なものにする
- **セプラフィルム:**  
新材形を中心に、消化器外科・産婦人科へ新規面拡を進め、更に浸透率を上げていく
- **リピディル:**  
脂質関連ガイドラインおよび糖尿病診療ガイドライン情報の活用により、更なる拡大を図る
- **フィブラストスプレー:**  
創傷関連ガイドライン情報の活用により、熱傷症例を中心に皮膚科・形成外科への情報提供を強化
- **ジェネリック医薬品:**  
6月に1品目の新発売を予定

## 2016年3月期に向けて

◎ クレナフィンの更なる成長を目指す

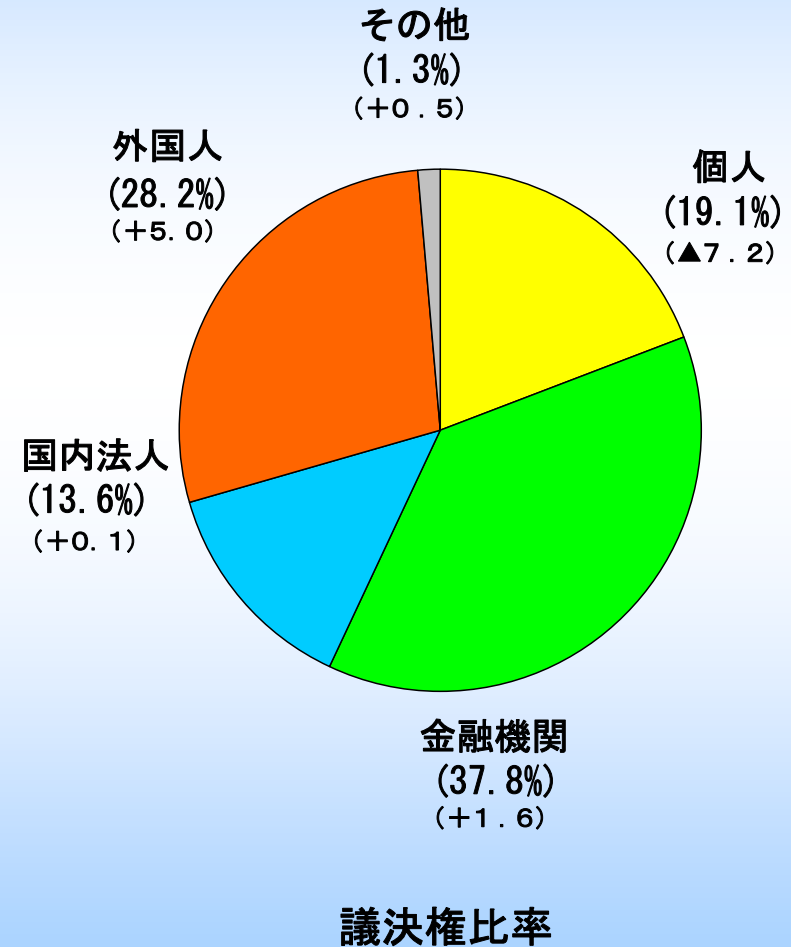
- 国内売上：120億円
- 海外Jublia関連売上：50億円

◎ 開発パイプラインの充実に向けての  
導入活動強化

◎ 単元株式数の変更及び株式併合を実施

# 大株主一覧表(2015年3月末)

	会社名または氏名	持株数 (千株)	議決権 比率 (%)
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,787	5.8%
2	東レ株式会社	4,589	5.6%
3	株式会社みずほ銀行	3,686	4.5%
4	農林中央金庫	3,686	4.5%
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,482	4.2%
6	ジェーピー モルガン チェース バンク 380634	2,142	2.6%
7	科研製薬従業員持株会	1,560	1.9%
8	日本生命保険相互会社	1,360	1.7%
9	杏林製薬株式会社	1,294	1.6%
10	共栄火災海上保険株式会社	1,248	1.5%



※自己株式数:14,025千株